# 一般社団法人 徳島県作業療法士会

#### 図知症に関する活動計画(概要)

徳島県作業療法士会では、独自に開発した介護予防ツール"ラシーサカード"の普及を図っている。今年度は、より地域への普及を図るため、パンフレットの作製を進めている。また、人材育成として会員向けに、研修の実施や情報交換の場を提供している。家族の会とも連携し、認知症フレンドリーマップの作製に協力する予定となっている。

#### ■ 世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

アルツハイマー月間に合わせ、会員向けに神戸大学の小川真寛先生に講師を依頼し、作業に焦点を当てた作業療法と題し、ウェブ研修を開催する予定である。

## 図知症の人と家族の会との連携事業

認知症の人と家族の会と徳島市との協働事業として、認知症フレンドリーマップを作製することが予定されている。その際、フィールドワークやマップ作成に協力する予定である。

### | 会員向け事業

認知症研修をウェブで開催。運営側も不慣れであり、委員を講師 として、アップデート研修の一部を行った。

また、認知症研修とは別に、会員同士の情報交換や交流を目的とした、認知症OTカフェをウェブで実施。コロナ感染症の感染拡大のため、他の作業療法士と話す機会が少なくなった会員にとって、自分の思いを話したり、他の作業療法士の悩みを聞いたりし、横のつながりが意識できた、良い機会となった。





## **ラシーサカード普及事業**

ラシーサカード普及事業として、使用者研修の他に、阿南市と協力し、市内のサロンで配布されるDVDの作製に協力し、ケーブルテレビで放送するなどし、サロンのみならず、自宅でもラシーサカードが使えるようにした。

また、サロンの交流会やいきいき百歳交流会に講師として呼んでいただき、市民の皆さんに紹介・配布させていただいた。 今年度は、他の市町村や関係機関にラシーサカードを知って もらうべく、パンフレットを作成し、配布する予定である。



